

特集 平成28年度 学校保健統計調査結果の概要

【佐賀県 統計分析課 加工分析担当】

■詳細については下記ホームページでもご覧になれます。

[さが統計情報館 統計データ検索サイト](#)

検索 

■報告書については統計分析課内行政資料室にありますので、ご活用ください。

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、学校保健安全法により毎年定期的に行われている健康診断の結果に基づき、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的としている。

2 調査事項

- (1) 幼児、児童及び生徒の発育状態（身長、体重）
- (2) 幼児、児童及び生徒の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無及び結核に関する検査の結果、心臓の疾病・異常の有無、尿、その他の疾病・異常の有無）

3 調査対象

幼稚園、小学校、中学校、高等学校のうち、文部科学大臣が指定する学校。

調査実施学校数、調査対象幼児・児童・生徒数は、次のとおりである。

区分	調査実施 学校数(校)	調査対象者数(人)		本県全体	
		発育状態	健康状態	学校数(校)	幼児・児童 生徒数(人)
幼稚園	29	1,276(1,058)	1,488	107	11,741
小学校	57	5,472(5,445)	26,781	172	47,083
中学校	37	4,440(4,427)	14,906	98	25,449
高等学校	24	2,160(2,100)	15,196	45	25,274

注) 1 発育状態の調査は、調査実施校に在籍する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別男女別に無作為に抽出された者を対象としている。()内は、実際の受検者数。
健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

2 幼稚園には幼保連携型認定こども園を、中学校には中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む。(以下同じ。)

4 調査の期日

平成28年4月から6月までの間に実施された学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査した。



II 調査結果の概要

発 育 状 態

1 身長・体重・座高の平均値

平成28年度及び平成27年度の幼稚園、小学校、中学校、高等学校における幼児、児童及び生徒の身長・体重の平均値を年齢別にみると、表1のとおりである。

表1 年齢別、身長・体重の平均値

区 分		身 長 (cm)				体 重 (kg)			
		男		女		男		女	
		H28	H27	H28	H27	H28	H27	H28	H27
幼 稚 園	5歳	109.7	110.1	108.8	109.2	18.7	18.8	18.3	18.4
小 学 校	6歳	116.3	116.5	115.2	115.9	21.3	21.4	20.7	21.2
	7	122.3	122.1	121.2	121.2	24.1	24.1	23.5	23.4
	8	127.7	127.6	127.1	127.0	26.8	26.7	26.6	26.2
	9	133.3	132.7	132.9	133.5	30.7	29.7	29.8	29.7
	10	138.6	138.7	140.0	140.0	34.0	33.7	34.4	34.3
中 学 校	11	144.6	144.9	146.8	146.9	38.0	37.8	39.6	39.2
	12歳	<u>152.7</u>	152.5	151.7	151.6	44.4	44.2	44.4	44.5
	13	<u>159.5</u>	159.3	154.8	154.5	49.2	48.6	47.8	47.4
高 等 学 校	14	<u>165.2</u>	<u>165.2</u>	156.4	156.2	54.2	54.2	50.1	50.4
	15歳	167.7	167.9	156.6	156.5	60.1	59.2	52.7	51.7
	16	<u>170.2</u>	169.3	157.0	157.0	62.1	60.2	52.5	52.3
	17	170.7	171.0	157.0	157.4	63.1	63.0	53.0	54.3

注) 1 下線の部分は調査実施以来最高を示す。以下の各表において同じ。

2 年齢は、平成28年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。

2 身長推移

- ① 身長推移をみると、表2のとおり、男女ともここ数年ほぼ横ばい傾向を示している。
- ② 親の世代である約30年前（昭和61年度）と比較すると、男子の身長は、6歳で0.4cm、11歳で1.8cm、14歳で1.8cm、17歳で0.1cm高くなっている。
- 女子の身長は、6歳で0.1cm、17歳で0.6cm低く、11歳で1.0cm、14歳で0.4cm、30年前より高くなっている。

図1 身長推移

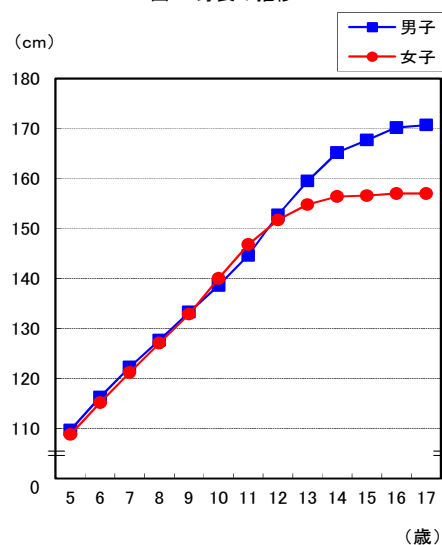


表2 身長推移（佐賀県、全国）

（単位：cm）

区分	佐賀県							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和61年	115.9	142.8	163.4	170.6	115.3	145.8	156.0	157.6
平成8	116.8	144.6	164.4	169.7	115.5	145.8	156.4	157.9
18	116.4	144.5	164.6	170.6	115.6	147.2	156.6	157.4
23	116.2	144.6	164.7	170.7	115.6	147.3	156.2	158.0
24	116.3	144.6	164.6	170.3	115.6	146.7	156.4	157.6
25	116.7	144.3	164.8	170.5	115.1	147.0	156.2	157.1
26	116.5	144.9	164.8	170.1	115.6	146.5	156.1	157.5
27	116.5	144.9	165.2	171.0	115.9	146.9	156.2	157.4
28	116.3	144.6	165.2	170.7	115.2	146.8	156.4	157.0

（単位：cm）

区分	全国							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和61年	116.5	143.6	163.9	170.3	115.8	145.6	156.3	157.7
平成8	116.7	144.9	165.2	170.9	115.9	146.9	156.7	158.1
18	116.6	145.1	165.3	170.9	115.7	147.0	156.7	158.0
23	116.6	145.0	165.1	170.7	115.6	146.7	156.6	158.0
24	116.5	145.0	165.1	170.7	115.6	146.7	156.5	158.0
25	116.6	145.0	165.0	170.7	115.6	146.8	156.5	158.0
26	116.5	145.1	165.1	170.7	115.5	146.8	156.4	157.9
27	116.5	145.2	165.1	170.7	115.5	146.7	156.5	157.9
28	116.5	145.2	165.2	170.7	115.6	146.8	156.5	157.8

3 体重の推移

① 体重の推移をみると、表3のとおり男女とも、ここ数年ほぼ横ばい傾向を示している。

② 約30年前（昭和61年度）と比較すると、男子の体重は、6歳で0.6kg、11歳で2.3kg、14歳で2.1kg、17歳で1.6kg重くなっている。

女子の体重は、6歳で0.3kg、11歳で1.4kg、14歳で0.6kg、17歳で0.1kg、30年前より重くなっている。

③ 下表の年齢区分で全国と比較すると、男子では、14歳、17歳、女子では11歳、14歳、17歳で全国平均を上回っている。

図2 体重の推移

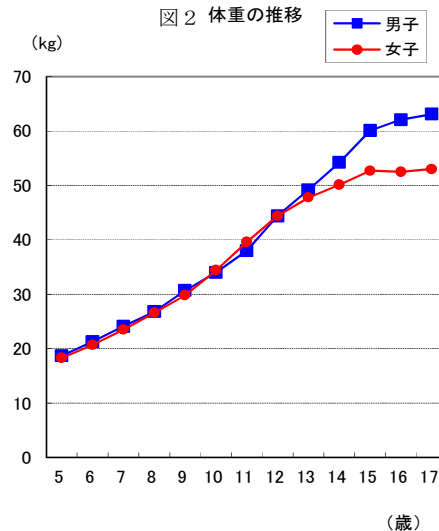


表3 体重の推移（佐賀県、全国）

(単位：kg)

区分	佐賀県							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和61年	20.7	35.7	52.1	61.5	20.4	38.2	49.5	52.9
平成8	21.8	38.4	53.6	61.9	20.8	39.1	50.3	53.4
18	21.4	38.1	54.3	<u>64.8</u>	21.0	40.0	<u>50.8</u>	53.1
23	21.3	37.5	54.0	63.8	20.9	39.5	49.8	53.8
24	21.2	37.3	54.2	62.8	21.1	39.3	49.6	53.3
25	21.6	37.9	53.6	63.9	20.8	38.9	50.3	52.5
26	21.5	38.6	53.9	62.5	21.0	39.2	<u>50.8</u>	52.5
27	21.4	37.8	54.2	63.0	21.2	39.2	50.4	54.3
28	21.3	38.0	54.2	63.1	20.7	39.6	50.1	53.0

(単位：kg)

区分	全国							
	男				女			
	6歳	11歳	14歳	17歳	6歳	11歳	14歳	17歳
昭和61年	21.2	37.0	53.3	61.8	20.8	38.2	50.0	52.8
平成8	21.8	39.0	54.9	63.1	<u>21.3</u>	40.0	50.6	53.2
18	21.6	38.8	55.1	63.9	21.1	39.5	50.6	<u>53.7</u>
23	21.3	38.0	54.2	63.1	20.8	38.8	49.9	52.8
24	21.3	38.2	54.2	62.9	20.9	38.9	49.9	52.9
25	21.3	38.3	54.0	62.8	20.9	39.0	49.9	52.9
26	21.3	38.4	53.9	62.6	20.8	39.0	50.0	52.9
27	21.3	38.2	53.9	62.5	20.8	38.8	49.9	53.0
28	21.4	38.4	53.9	62.5	20.9	39.0	50.0	52.9

健康状態

主な疾病・異常の推移

疾病・異常のうち主なものについて、およそ10年間の推移をみると表4のとおりである。

表4 主な疾病・異常の推移

(単位：%)

区分	むし歯(う歯)	裸眼視力1.0未満の者	鼻・副鼻腔疾患	耳疾患	心電図異常	ぜん息	蛋白検出の者	
幼稚園	平成18年度	61.5	12.0	6.9	6.3	…	3.1	0.6
	24	57.3	X	X	3.4	…	1.1	-
	25	52.4	X	2.7	5.5	…	1.1	1.4
	26	45.9	X	2.4	2.1	…	3.2	-
	27	46.5	X	1.8	1.8	…	0.9	-
	28	47.7	X	8.9	1.9	…	2.7	2.9
小学校	平成18年度	73.7	28.3	14.3	5.7	5.5	3.0	0.4
	24	59.9	32.7	12.5	6.0	5.0	2.0	0.5
	25	60.5	30.9	12.6	7.1	4.1	1.9	0.5
	26	59.8	31.9	13.7	6.2	4.9	3.3	0.9
	27	58.3	33.4	11.9	6.4	4.3	3.3	0.5
	28	56.2	33.6	10.9	6.3	3.5	3.7	0.5
中学校	平成18年度	66.9	49.4	12.4	3.7	6.6	2.7	0.9
	24	44.0	56.3	13.8	3.4	5.3	1.5	1.7
	25	39.8	48.8	13.2	4.3	6.5	1.5	1.6
	26	35.1	51.1	13.3	4.5	5.9	1.4	2.1
	27	36.0	52.0	12.3	4.8	6.3	2.0	2.8
	28	34.9	55.2	10.8	3.6	4.4	1.6	1.3
高等学校	平成18年度	80.6	62.1	15.1	3.8	7.3	1.6	1.3
	24	64.1	64.1	14.3	1.9	4.3	2.0	1.7
	25	62.7	X	13.3	2.4	6.0	1.3	1.8
	26	55.3	53.4	13.8	2.2	5.3	1.2	2.0
	27	55.0	X	8.0	1.8	6.3	1.5	3.4
	28	53.7	X	11.1	2.3	5.0	1.5	2.6

- 注) 1. 「-」は計数が0の場合。「0.0」は係数が0ではないが表示単位未満の場合。
「…」は調査対象とならなかった場合。
2. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人(5歳は50人)未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

(1) むし歯（う歯）の被患率

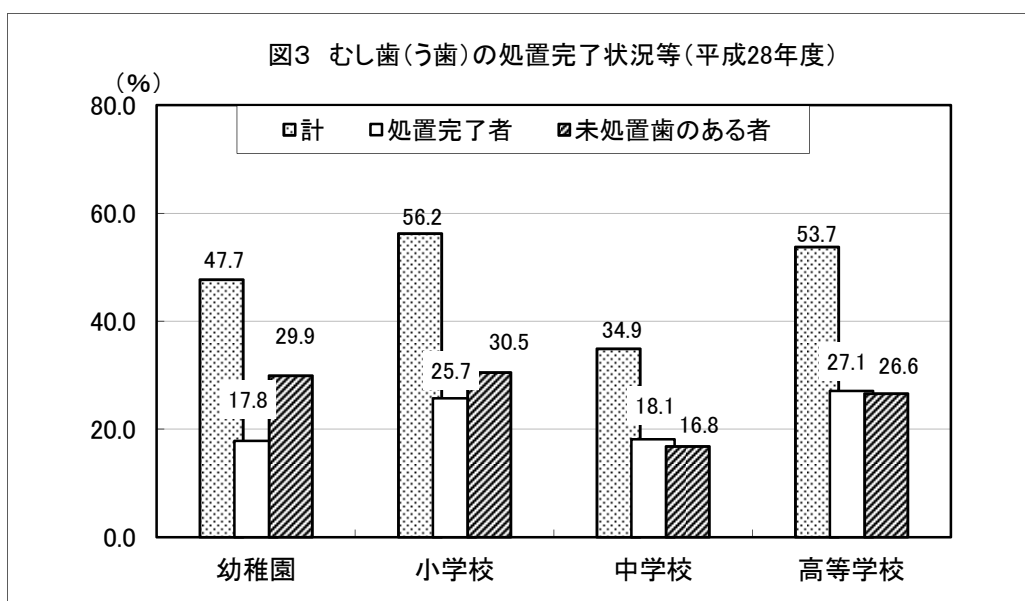
「むし歯（う歯）」について、「処置完了者」と「未処置歯のある者」に区分してみると、表5のとおりである。

むし歯の被患率（治療済みの者を含む）は、幼稚園47.7%（全国35.6%）、小学校56.2%（全国48.9%）、中学校34.9%（全国37.5%）、高等学校53.7%（全国49.2%）となっており、中学校を除いて全国平均を上回っている。

表5 むし歯（う歯）の処置完了状況等の推移

（単位：％）

区 分		年 度						全 国 (H28)
		H18	24	25	26	27	28	
幼稚園	計	61.5	57.3	52.4	45.9	46.5	47.7	35.6
	処置完了者	24.5	22.1	24.1	18.5	17.1	17.8	14.5
	未処置歯のある者	37.0	35.2	28.3	27.3	29.4	29.9	21.1
小学校	計	73.7	59.9	60.5	59.8	58.3	56.2	48.9
	処置完了者	30.4	26.5	26.7	27.5	27.1	25.7	24.7
	未処置歯のある者	43.3	33.4	33.8	32.3	31.2	30.5	24.2
中学校	計	66.9	44.0	39.8	35.1	36.0	34.9	37.5
	処置完了者	31.5	22.3	21.0	18.9	19.9	18.1	21.0
	未処置歯のある者	35.4	21.7	18.9	16.2	16.1	16.8	16.5
高等学校	計	80.6	64.1	62.7	55.3	55.0	53.7	49.2
	処置完了者	39.9	33.5	31.1	30.3	27.9	27.1	28.4
	未処置歯のある者	40.7	30.6	31.5	25.0	27.1	26.6	20.8



(2) 裸眼視力1.0未満の被患率

裸眼視力1.0未満の者の割合は、小学校33.6%（全国31.5%）、中学校55.2%（全国54.6%）となっており、小学校、中学校で全国平均を上回っている。

10年前（平成18年度）と比較すると、小学校では5.4ポイント高くなっており、裸眼視力0.3未満の者は、10年前より2.6ポイント高くなっている。

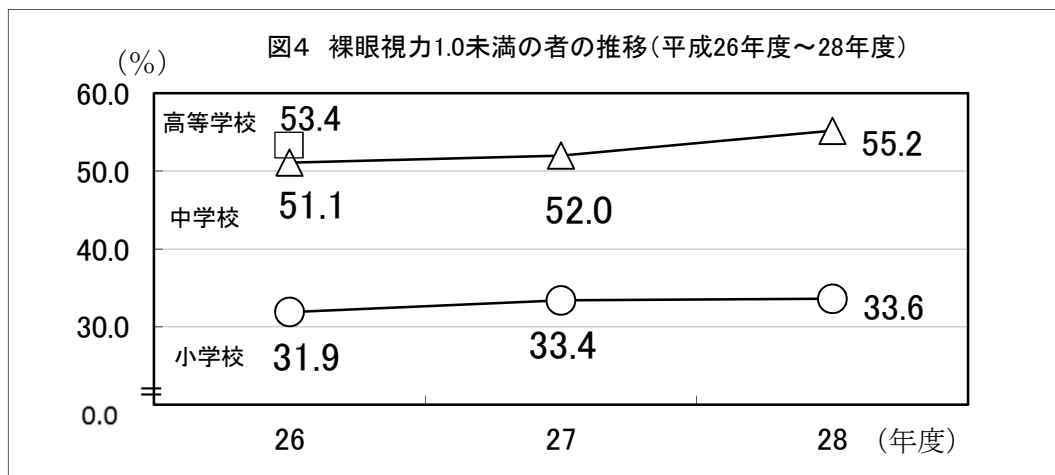
表6 裸眼視力1.0未満の者の推移

(単位：%)

区分	年度	H18	24	25	26	27	28	全国 (H28)
	幼稚園	計	12.0	X	X	X	X	X
	1.0未満0.7以上	7.0	X	X	X	X	X	20.0
	0.7未満0.3以上	1.6	X	X	X	X	X	7.1
	0.3未満	3.4	X	X	X	X	X	0.9
小学校	計	28.3	32.7	30.9	31.9	33.4	33.6	31.5
	1.0未満0.7以上	11.4	11.5	11.2	11.0	12.6	12.0	11.2
	0.7未満0.3以上	10.6	12.4	11.2	11.9	12.3	12.7	11.7
	0.3未満	6.3	8.7	8.5	9.0	8.6	8.9	8.6
中学校	計	49.4	56.3	48.8	51.1	52.0	55.2	54.6
	1.0未満0.7以上	11.0	11.1	9.3	12.1	10.4	10.5	11.5
	0.7未満0.3以上	16.0	16.6	18.6	16.3	15.1	16.4	16.4
	0.3未満	22.5	28.6	21.0	22.7	26.5	28.4	26.7
高等学校	計	62.1	64.1	X	53.4	X	X	66.0
	1.0未満0.7以上	9.3	X	X	X	X	X	11.8
	0.7未満0.3以上	15.4	X	X	X	X	X	16.6
	0.3未満	37.4	X	X	X	X	X	37.5

注) 「-」は計数がない場合。「0.0」は計数が表示単位未満の場合。

「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上または受検者数が100人（5歳は50人）未満または回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。



注) 幼稚園及び高等学校（平成27年度、28年度）の値は、X表示のため表示していない。

■ 全国の結果及び都道府県別の結果については、文部科学省のホームページに掲載されています。
http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm
 (文部科学省ホームページ → 白書・統計・出版物 → 統計情報 → 学校保健統計調査)